



いいで町

168号

議会だより



たのしいな!! じいちゃん、ばあちゃんと

12月議会（第8回定例会）

定例会概要 P 2～3
一般質問 P 4～8
総務文教・産業厚生常任委員会 P 10～11
意見交換会 P 12～13
議会研修・議会挨拶 P 14～15

見込額より上回る

12月定例会概要

12月7日から15日までの9日間、定例会が開催されました。

各会計補正予算11件、条例の設定・改正3件。工事請負契約変更2件、人事案件1件の17件を審査し、すべて原案のとおり全会一致で可決しました。一般質問は5人でした。

主な歳出

○福祉灯油購入費助成事業	225万円
○農村基盤総合整備事業	120万円
○貸工場整備設計業務	8000万円
○公有財産購入事業	7000万円
○道路維持工事	2603万円
○用排水路整備工事	1410万円
○農業経営基盤強化促進対策事業	288万円
○災害復旧事業	190万円

新しい条例

◇障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる町づくり条例
 全ての町民が差別なく、安心して暮らしていく社会の実現にむけて条例を設定します。

一部を改正する条例

◇産業集積の形成及び活性化のため固定資産税の課税免除条例
 法則の施行に伴う一部を改正し規定整備を行うものです。

◇長寿祝い金支給条例
 29年12月31日で失効することに伴い、引き続き支給するために改正を行うものです。

人事

◇人権擁護委員
 委員
 萩生 伊藤幸子氏

任期満了に伴い、引き続き委員に推薦することに同意しました。

工事請負契約の一部変更

◇手ノ子地区農業集落排水事業管路工事(第一工区)
 設計変更に伴い、契約金増額及び工期延長となります。

◇道路防犯灯LED化工事
 請負契約金額を変更するものです。

各会計 補正予算

町税・ふるさと納税

◆一般会計

〔歳入〕

(単位：万円)

款	補正前の額	補正額	計	補正の主な補正
町税	5億9005	2000	6億1005	個人町民税の増
地方交付税	27億5753	410	27億6163	普通地方交付税
使用料及び手数料	7771	6	7777	椿墓地使用料
国庫支出金	5億1780	▲5712	4億6068	携帯電話等エリア整備事業費補助金
県支出金	5億4905	1273	5億6178	無線システム普及支援事業費補助金
寄附金	1億1258	3000	1億4258	ふるさと寄附金
繰入金	7億1253	▲5000	6億6253	財政調整基金
諸収入	8425	165	8590	雑入
町債	11億9880	▲250	11億9630	山王原農地整備事業債 手ノ子農地整備事業債
補正されなかった款の額	3億9429	0	3億9429	
歳入合計	69億9459	▲4108	69億5351	

〔歳出〕

(単位：万円)

款	補正前の額	補正額	計	補正の主なもの
議会費	7939	▲4	7935	手数料
総務費	9億8450	1803	10億0253	報償費
民生費	13億3937	698	13億4635	扶助費、繰出金
衛生費	3億4118	▲1450	3億2668	国民健康保険直診勘定繰出金
農林水産費	10億3336	▲2834	10億0502	工事請負費、交付金
商工費	9億1795	94	9億1889	貸工場整備設計業務費
土木費	7億0763	▲2469	6億8294	道路維持工事
教育費	7億2726	▲168	7億2558	時間外手当
災害復旧費	4474	222	4696	災害復旧委託費
補正されなかった款の額	8億1921	0	8億1921	
歳出合計	69億9459	▲4108	69億5351	

◆特別会計

(単位：万円)

会計名	補正前の額	補正額	計	補正の主なもの
国民健康保険 事業勘定	8億9273	125	8億9398	精査によるもの
国民健康保険 直診勘定	1億5405	▲2440	1億2965	医師給与の減
後期高齢者医療	8507	▲104	8403	負担金の減
介護保険	11億2466	388	11億2854	精査によるもの
介護老人保健施設	3億2495	▲1112	3億1383	職員給与の減
下水道事業	7億1395	7	7億1402	生活排水手数料の減
萩生財産区	40	11	51	基金積立
添川財産区	270	25	295	〃
中津川財産区	551	▲100	451	造林事業の減

	補正前の額	補正額	計	
水道事業	2億0811	75	2億0886	料金納付書印刷代

一般質問

しあわせに暮らせる 夢あるまちづくりのために



鈴木敏夫議員

○3期目の町政運営について

○健康長寿日本一を目指す

○町職員の管理について

取り組みは

質問 町政、かじ取りの方向性について。

産業集積に努力

町長 「自然文化と最先端科学技術が融合するまちづくり」を目指し、人材の育成と最新技術を駆使した産業集積に努力していきます。

質問 高齢者宅の雪対策は。

今年度中にモデル地区を選定

町長 現在、高齢者世帯に対する対策として、「除雪ヘルパー派遣事業」「除雪費支給事業」「宅道除雪事業」等を行なっていますが、間口除雪等は要望が多い現状です。今年度中にモデル地区を選定し、雪対策に係る支え合い事業を試験的に行い、全町的な事業を展開したいと考えています。

質問 健康日本一を目指すには。

基本方針に基づき対処

町長 県の「健康長寿日本一実現プロジェクト事業」に関連する町事業として「やまがた健康マイレージの普及促進」や「健康元気いいで町ポイント事業」「糖尿病等の重症化予防」等の取り組みを実施しています。今後とも継続・推進します。

めざせ！健康で長生き



質問 町職員の管理について。

行政本位の意識で

町長 管理職と一般職の違いとして、管理職には指揮統率能力、政策形成能力、組織経営能力が求められます。一方は、公務員とし

ての基本的な知識や自覚、新たな政策課題設定や具体的政策の提案等が求められます。

しかし、住民の要望に応じられず、お叱りを受けることもありま

一般質問

若者に 魅力のある畜産振興を



長沼桂子議員

○米沢牛の主要産地として
継承していく施策は
○畜産団地の造成と進め方は
○県単独事業への補助金の高上げは

質問 本町は、ブラン

ド牛「米沢牛」の約40
頭を生産しているが、
今後とも主要産地とし
てどのような施策で継
承していくのか。

生産拡大や 耕畜連携で

町長 日本の黒毛和牛

の中で、5銘柄しか認
定されていない「地理
的表示保護制度」に、
米沢牛が認定されまし
た。本町においても最
も名声の高い特産品と

なりました。

仔牛や飼料価格の高
騰、産地間競争の激化
や環境問題への対応な
ど、畜産業は厳しい状
況にあります。

畜産の収益性を向上
させるため、地域一貫
を目指す生産拡大、耕
畜連携によるコスト削
減、循環型農業の取り
組みなどで、米沢牛の
生産振興を図っていき
ます。

質問 畜産を生業とす
るためには、繁殖から
肥育までの一貫経営に
移行する必要があります。
しかし、今のままの
牛舎では、地域の方々
から理解を得ることは
難しい。
そこで、畜産団地を
造成する必要があると
思うが、団地造成の考
えと進め方は。

繁殖の基盤強化は 必要不可欠

町長 畜産後継者の育
成や、住宅地と畜舎の
すみ分けなど、今後の
畜産振興を図るうえで
「繁殖の基盤強化」は
大事だと考えます。

用地の選定や地域環
境に配慮し、調和した
仔牛の生産拠点整備に
段階を経ながら一歩前
に踏み出していきま
す。

質問 議員研修で訪れ
た宮崎県串間市と日南
市では、国の単独事業
に、国の補助と同率に
なるよう高上げしてい
た。また、県内の畜産
を振興している主要市
町村でも実施してい
る。

来年度から 補助金の高上げ検討

町長 国の畜産クラス

ター事業は下限条件な
どの制約があるため、
活用しにくい事業と
なっています。
県には町が補助すれ
ば協調補助として、国
の補助と同率の2分の
1になるような制度が
あります。

飯豊町で畜産をやっ
てみたいという新規就
農者などの定住につな
がることから、来年度
からの協調補助の実施
に向け、検討していま
す。



望まれる安定経営

一般質問

町民の要望を しっかり把握し 町政へ



古山 繁巳 議員

- 町民の要望を把握しているか
- 山大×EV等の事業で結果はどうか
- 小学校統廃合問題は
- 遊休地・遊休施設をどうする

質問 住民の要望をどのように把握し、事業をしているか。

質問 山大×EV研究センター事業では、意味のある結果が出ているか。

の実証実験などが行われます。

質問 小学校統廃合の年度は決定しているか。

保護者、地域との話し合いで

町長 児童数の減少に伴い、平成33年に3学級しかない完全複式学級になる学校がで見込みです。集団としての活動機会が少なくなり、機能を発揮できなくなることから、統合の検討も必要です。

慎重に進めることが大事で、保護者や地域向けの検討会を設置し、町の押し付けがないようにします。

町民と一体となり 実証実験を

町長 町民生活との関わりでは、交流人口の拡大で企業の関係者等が多数来町し、宿泊や飲食、地場産品の購入及びタクシー利用などで経済効果が生まれます。

さらに、既存企業と

広報を活用して 購入希望者を募る

町長 遊休地で、活用ニーズや売却の可能性

が高いと思われる宅地・雑種地を対象に売却を進めていきます。

旧中津川小中学校は、昨年度より中津川むら

づくり協議会に町が参画し、利活用について住民の方々と膝を交え検討しています。

無償譲渡でも価値が出るのなら、企業の誘致を加速する手段としても考えられます。



どう活かす 遊休地・遊休施設

町長 住民アンケート調査やワークショップ、地域づくり座談会などをとおして意見や提言をいただいています。職員に対しては、積極的に外に出て住民の声を拾い上げるよう指示しています。

大企業との関係者等が多数来町し、宿泊や飲食、地場産品の購入及びタクシー利用などで経済効果が生まれます。

一般質問

農業と農村の展望は



高橋 亨一 議員

○米政策の見直しは 中山間地域の農業は

質問 国では平成30年度から米政策の見直しを行う。その対応と目標を達成する施策は。

生産調整は継続して

町長 平成30年度から国がコメの生産数量目標の配分と、10ヶ当たり75000円の交付金を廃止します。

需要に応じた米の価格安定のため、県から市町村別の生産目安が提示されます。

転作拡大地域が目安を達成した場合は、加

質問 米の直接支払交付金が来年度から廃止となると、大規模農家や農業法人は大きな収入減となり、経営に影響してくる。

町独自の助成を継続

町長 転作助成に3400万円を町独自で継続し、助成する考えです。

主食用米が増えれば、需給バランスがくずれ、米価の下落につながります。

米は価格弾力性が極めて低い農産物です。適切な需給バランスを保つことが基本です。

町は、米の美味しさと質の高さを伝え、消費者へのPR活動、販売促進活動などの情報発信を行い、生産と生

産者を守ることに全力投球します。

質問 山間地域での農業は、気象条件や農地不利地など営農に格差が広がっている。

生産コストの格差是正を実施し、多様な支援が必要では。

中山間地域等 直接支払交付金制度で

町長 生産活動やコスト格差是正をするため、「中山間地域等直接支払交付金制度」を実施し、10団体に交付しています。

また、「農地中間管理機構関連農地整備事業」も予算化が要望され、土地改良事業が優遇されます。



工事が進む手ノ子地区土地改良事業

一般質問

環境に優しい 文化が残るまちづくり



遠藤 忠 議員

○町の環境管理について

○国登録渡邊六郎兵衛家

○消防団員の報酬は
長屋門について

質問 本町の環境管理は。

での家畜排せつ物の取り扱いも重要です。

重要文化財的景観の
認定をめざす

町長 平成20年「日本で最も美しい村」連合に加盟し、景観や文化環境を守る地域づくりを行っています。

景観計画策定や条例の準備を進め、将来は文化庁の「重要文化財的景観」の認定をめざします。本年認定されたバイオマス都市構想

質問 世界遺産に値すると一英国人から評価されたことをどう考えるか。

インバウンド力と
地方創生で

町長 アダム・フィルフォード氏が「英国人から見た飯豊の魅力」と題した講演で、中津川は世界遺産に値するとの話がありました。

外国人のとらえ方は、多様性があり、直感的に表現するなど、地域住民への思いは目からウロコと感じました。外国人の視点を地方創生に活用することも必要と思いました。

質問 国登録となった黒沢の渡邊六郎兵衛家長屋門を町管理にしては。

寄附で対応したい

町長 明治42年に建てられた大切な文化財なので、渡邊家全体の保存を考えています。

インターネット等で寄付を募って対応し、その後には町支援の在り方を検討します。

質問 消防団員確保のためにも、報酬や装備の充実を図るべきでは。

一市三町と連携し対応

町長 日頃、目を見張る活躍があり、応分の報酬を検討します。西置賜行政組合との連携

も必要と思えます。装備については、「消防団の装備の基準」及び「消防団員制服基準」の改正により順次配備していきます。



町あげて守れ、国登録の渡邊家長屋門

臨時会

台風被害を復旧

11月14日第8回臨時会を開催し、一般会計補正予算、専決処分3件及び工事請負契約の一部変更を審査し、いずれも全会一致で可決・承認しました。

◆専決処分

○交通事故に係る損害賠償の額の決定

8月31日長井市内において、職員が公用車を運転中に起こした交通事故の損害賠償額を決定しました。

○水道事業会計補正予算

交通事故に係る保険金の歳入と、損害賠償金の歳出13万円を補正するものです。

○一般会計補正予算
衆議院議員選挙に係るもので、767万円を補正しました。

◆一般会計補正予算

○萩生城址公園水路工事
申請費の追加40万円。

○10月22日から23日の台風の影響により、町道手ノ子沢線路肩欠損災害の復旧業務委託料100万円を追加し総額69億9459万円としました。

◆工事請負契約の一部変更

○平成29年度 道路防犯灯LED化工事の資材納期が遅延するため、工期を平成30年1月31日まで延期するものです。



LED照明で明るいまちに

傍聴をお待ちしています

- 次回の定例会は **3月**です
- インターネットでも見るができます



表紙の説明

西部地区公民館
で高齢者学級生と
手ノ子小児童がソ
バ打ち教室で交流

小学校再編 説明会開催

総務文教常任委員会

各課からの報告

総務企画課

◆いいで未来サポート隊活動について、1月下旬に報告します。

◆分校跡地住宅団地整備で、ガイドラインを設定する協議は現在進行中です。

住民税務課

◆本町の交通安全指導員が、11月28日東北管区交通安全教育コンクールに出場し、準優勝しました。

教育委員会

◆小学校再編について、第二・手ノ子・添川の各小学校PTA及び幼児施設代表者に対して、

象に説明会を開催しました。

◆学校給食調理場で保護者対象の給食試食会を開催し、21名の参加をいただきました。

教育総務課

◆学校給食調理場で保護者対象の給食試食会を開催し、21名の参加をいただきました。



学校給食を試食

質問と答弁

長沼委員

若い人達が町内で音楽活動を行っているが、発表の場を設け、婚活につなげては。

遠藤社会教育課長

把握はしていないが今後、活動している若い人が一緒に発表できる場を考えていきます。

古山委員

固定資産税の適正課税の調査をしているか。

川崎住民税務課長

毎年国から評価基準が公表され、3年に1度評価替えがあります。毎年環境変化を考慮して計画を見直し、必要な改正を行っています。大字単位に

住宅基準値を設け、補正をかけて行います。のか。

嶋貫委員

今年は職員の間で故が多く、登庁時間ギリギリで走ってくる人もいます。指導をしつかりしているのか。

嶋貫副町長

全員集めての話は御用始めと御用納めに注意をしています。また、交通安全週間などで注意喚起をしています。

後藤総務企画課長

個別に話をした事例はありますが、さらに指導をしていきます。

高橋委員

空き家対策相談会の内容と、町外所有者にはどのように連絡する

高橋特別対策室長

空き家の処理の仕方や使い方など、全般にわたる無料相談を行っています。町外の方も可能ですが、連絡方法は考えていません。

ホームページ、広報に掲載するか、ダイレクトメールも検討していきます。

後藤委員

第一小学校のプールはいつ造るのか。

後藤町長

町として大型事業があるのか、来るべき時期に設置をします。

2頭が最優秀牛に

産業厚生常任委員会

各課からの報告

農林振興課

◆米の作況指数は県が100、置賜が99でした。

◆コメ海外市場拡大戦略プロジェクトに県内では18社、本町の飯豊美米倶楽部も参加しています。

◆黒べこまつり「冬の陣」が1月27日いいで旅館で、2月3日に物産館で開催されます。
◆平成29年度枝肉共励会で添川の横山雅浩さんの牛が最優秀を受賞しました。
また29年最後に開催された枝肉共進会では高峰の伊藤儀宝さんが飼育した牛がチャンピオン牛に輝きました。

産業連携室

◆屋台村周辺活性化協議会を3社で設立しました。

屋台村の出店は個人・法人とも1店舗づつ内定しています。

地域整備課

◆除雪は、8社で構成する企業体、消雪は地元業者2社にそれぞれ委託しました。

◆公的施設と高齢者宅を中心に除雪作業をするため、直営班に2名を雇用しました。

◆県道九才峠が、春の融雪時まで通行止めとなります。

質問と答弁

後藤委員 介護要支援と、要介護に認定されている人数は。

また、介護予防事業を展開して認定者は減ったか。

伊藤福祉課長 要支援が95名、要介護が418名で、合計513名が認定されています。

予防事業は、ほのほのサロンや筋肉トレーニング等を行っており、効果があがっています。

菅野委員 飼料米の指数は、置賜地方のものか、町独自のものか。

30年度は7500円の交付金がなくなるが、30年度予算で町独自の支援は。

伊藤農林振興課長 町は99で調整しています。県に併せ検討します。

鈴木委員 「美の里」職員の待遇を改善をすべきでは。

後藤美の里事務長 時給制から月給制にした

り、少しずつ改善を図っています。今後は退職金制度に加入することも検討していきます。

町長 民間手法を取り入れ工夫も必要な時期と考えます。

井上委員 森林経営計画を進めるべきでは。

町長 森林経営計画は重要と聞いています。専属3名を配置しているが長期間かかるので、暫定境界にならざるを得ないかもしれません。

遠藤委員 地域づくり座談会のあり方は。

町長 民間手法を取り入れ工夫も必要な時期と考えます。



枝肉共励会最優秀賞受賞

意見交換会

課題を話し合い

各種団体やグループと、町づくりの課題などについて話し合い、町民の皆さんのご意見をお聞かせいただくために、議員との意見交換会を開催しました。

昨年までは、議会でお願ひし実施してきましたが、今年から、より町民の方々が日頃考えていることや疑問に思っていることなどを、細部にわたって話し合いをするため、希望する団体からの申し込みにより実施しました。

その結果、3団体から申し込みがあり、議員全員が出席して、意見の交換を行いました。

各団体等からの主な質問、要望等を【団】、議会の回答、対応等を【議】と表示し、報告します。

意見交換会開催団体・日程等

開催日時	団体名	参加者数
11月24日(金) 午後3時～	飯豊町商工会	11名
11月25日(土) 午後6時～	東部地区活性化協議会	11名
11月28日(火) 午後7時～	黒沢区協議会	16名

飯豊町商工会との主なもの

【団】商店街の厳しい状況は認識しているが、魅力ある商店づくりが必要である。

活性化のためにも、議員の知恵を拝借できないか。

【議】商業だけでなく、工業、農業と一緒に盛り上げていくべきである。プレミアム商品券の発行も有効と思う。

若い世代が町内で買い物ができる環境整備を行うべき。

【団】県産木材を使った住宅の補助金は、使いやすいので、制度にできないか。

【議】県の補助に町が上乗せする制度であり、年度をまたぐと制限があるので、上手に活用してほしい。

【団】屋台村にはオブ

ザーバーとして参加しているが、出店する方は承知していない。内容は、委託を受けている協議会で検討されていると思うが、商工会の役割について町から相談はないが、どう対処すればいいのか。

【議】新しく取り組む。勇気も必要であり、協議会を構成するセルカ・エルベ・ホテルスローヴィレッジが商工会に助言を求めるようになればよいのでは。特に、山形大学×EV関連で活用してもらえるように努力すべきである。



意見交換会

地域・団体の

東部地区活性化協議会との主なもの

【団】 少子高齢化時代が進み、今後、集落や地域での行事等ができなくなる。地域と行政、議会が一体となって、将来の構想をつくるべきでは。

【議】 人口が年々減少する中で、これから町として何を目標にどう対応すべきか分からず心配である。

若者が本町に残り、定住できる条件づくりや、住み続けたい町づくりのため、三者一体となって議論し、条件整備を図っていくことが早急な課題である。

バイオマス産業都市に認定されたことにより、民間で「バイオガス発電事業」を実施するもの。家畜排せつ物などからバイオガスを生成し、それを燃やして発電する方法により、電気や熱を生み出すものである。

要望している住宅団地が、ようやく実現されるが、その内容は。【議】 豆腐工場の東側に、7581㎡の面積を取得し、団地造成を進めている。用地は全て契約済みであり、一区画95㎡から127㎡で、15区画を分譲予定している。

【議】 国から飯豊町が問題はないか。

また、環境衛生面に
【団】 東部地区で長年



黒沢協議会との主なもの

【団】 座談会のおり、町長から山形大学xEV関連事業の3年後を見てほしいと言われた。

金がかかるが、雇用が増え町の知名度アップに期待したい。しかし、結果が大切である。

【議】 ご意見として伺います。
【団】 議員活動の評価をしているが、自己評価か。また、任期中に目標を達成できるのか。

【議】 自分で評価したもので、残された2年で目標達成に努めていく。
【団】 今の議員報酬額で満足しているか。
【議】 生活給でないため、若い勤労者が立候補できないのが現状である。
年金制度や社会保険制度の確立が必要と考える。

議会活動に生かす

議会運営委員会研修 専門職短期大学は寄附等で設置

平成29年12月4日から5日までの2日間、東京衆議院第一議員会館で中央研修を行いました。

初日は、地域未来投資促進法について、経済産業省・地域未来投資促進室 課長補佐 善明岳大氏より説明を受けました。

本町に関係のある、山形大学×EV飯豊研究所関連の貸し工場建設には、支援措置はないが、民間企業と一緒に

プロジェクトを取り組めば支援出来ることでした。また、民間企業の設備投資と地元企業の増築にも、支援措置は可能であることでした。

二日目は、専門職大学・専門職短期大学制度化について、文部科学省高等教育局の渋谷秀幸氏と三木仁史氏に説明をいただきました。

専門職大学・短期大学の本町設置は、良いことと考えられるが、



大学改革の説明を

校舎建築などの支援措置はない。また、国から自治体に対しても支援はないとのことでした。

自己資金・寄付金等で大学を設置しなければならず、開校には多額の資金が必要と思われる。

議会自主研修会 認知症は早期診断で

議員活動の一環として、毎年実施している自主研修会を、1月12日「あす」で開催しました。

長井市の医療法人杏山会 吉川記念病院院長 吉川 順氏より

「認知症と初期集中支援チーム」と題し、講演をいただきました。

認知症になっても本



認知症になっても自宅で介護

人の意思が尊重され、

できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、早期診断、

早期対応に向けた支援体制を構築するため御

尽力なされているとのことでした。

チームの対象者は、40才以上で在宅で生活し、認知症が疑われる人または認知症の人で、

介護サービスを受けていない人や中断している人だそうです。

いずれ誰もが老い、身体の健康と同じく認知症になることを恐れ、施設に入所しなければと心配しています。

今回、吉川先生に支援チームのことを話したいだけ、安堵した人も数多くいらっしゃったのではないのでしょうか。

平成30年

新年あけまして おめでとうございます

遠藤 忠
今年も皆様の
聞き役として



菅野富士雄
しっかり！！
地に足をつけて



後藤恵一郎
チャレンジ
夢信じて進む

古山繁巳
今年も老若男女
すべてにやさしく

鈴木敏夫
地域の絆を深め、
活性化を



長沼桂子
背伸びせず
ぐいいで、らしい町に



嶋貫栄助
健康第一、
チャレンジ



高橋亨一
今年のテーマ
「町民のために」



井上 南
それぞれが
夢を持てる町づくり



輝かしい新春を迎えた新たな一年が始まるとうとしていきます。

平成30年の干支は戌。犬は誰にでも好かれ、愛犬として飼っている家庭も少なくありません。また、犬はお産が軽いことから、安産については「戌の日」が吉日とされています。

今年子どもが大勢生まれ、町がにぎわうことを祈っています。

議会としまして、議員9人、知恵を出し合い、力を結集して、町民の方々が暮らしやすい町ぐいいで、ぐいりに頑張ります。

また、議会に与えられている行政への監視機能を十分に発揮しながら、政策提言を行い、将来とも夢のある明るい町になるよう邁進します。

議員一同

紹介状をお持ち下さい

置賜広域病院

置賜広域行政事務組合

平成29年11月14日定例会を開催し、28年度各会計決算を認定、29年度一般会計補正予算、消防特別会計補正予算の2議案を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

平成29年11月14日定例会を開催し、28年度各会計決算を認定、29年度一般会計補正予算、消防特別会計補正予算の2議案を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

西置賜行政組合

12月27日臨時会を開催し、条例の一部改正及び一般会計補正予算を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

置賜広域病院企業団

10月31日定例会を開催し、28年度病院事業会計決算と、29年度補正予算等を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。その中で手数料条例が改正され、非紹介患者初診加算料が倍増します。(30年4月1日より)



充実する救急搬送

28年度の総収支は基幹病院の純利益が大きく伸びたのに伴い、対前年比で4億2610万円の改善となり純損から純利益に転じました。しかし、医業収益については、診療単価が増加し、入院患者数の大きな減少で、全体で1・6%の減収となりました。

編集後記

明けましておめでとうございます。

「開かれた議会」を目指す一つとして、意見交換会を開催しました。夜間にもかかわらず多数の参加を頂き感謝申し上げます。

今回の議会だよりにより町民の貴重なご意見とご要望を取りまとめ、記載していただきますのでご覧下さい。

町民皆様の声を大切に、より良い町づくりを議員一同努力して参ります。今年度もよろしくお願ひ申し上げます。(高橋 記)

発行責任者

- 議長 後藤惠一郎
- 委員長 井上 南
- 副委員長 高橋 亨一
- 委員 長沼 桂子
- 委員 菅野富士雄
- 委員 古山 繁巳
- 委員 遠藤 忠